

大規模発話ログデータを活用した音声対話処理

鍛治 伸裕^{1,a)}

概要：近年、Siri や Amazon Echo といった音声対話サービス (機器) が次々と現れるなど、音声対話技術は実用化のフェーズに入りつつある。そのため研究開発の現場においては、大勢のユーザを持つ音声対話サービスを運用しながら発話ログの収集を行い、その発話ログデータの分析によって音声対話技術を高度化させ、その結果として更に多くのユーザの獲得につなげる、という好循環が回り始めている。本講演では、ヤフー株式会社におけるそうした取り組みとして、対話型エージェントアプリ「Yahoo! 音声アシスト」の大規模発話ログデータを用いた音声対話処理の研究事例を紹介する。

¹ ヤフー株式会社
Yahoo Japan Corporation

^{a)} nkaji@yahoo-corp.jp